

緑化だより

No.64 平成23年9月号



ミヤマアカネ 平成22年 8月20日撮影

- きのこの味“苦い味のきのこ(3)”
- 毒のある植物
- サクラのあれこれ (6)
- 研修会紹介
- 野鳥の世界
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843
URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの味

苦い味のきのこ (3) オオワライタケ(大笑茸)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つに“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。

今月も苦い味のきのこをとりあげます。

オオワライタケは夏～秋にシイやコナラの枯れ木に束生する大型の毒きのこです。柄は淡黄色で根元が太く、膜質のつばを備えています。肉は淡黄色で汗臭いような臭いがあり苦い

味がします。中毒症状は致命的ではないとされています。食後5～10分で、ふるえ、寒気、めまいなどの症状がでます。多量に食べると幻覚症状が出ます。「きのこ図鑑(家の光協会)」によると、「オオワライタケを夕飯に食べた、普段はおとなしい G さんが、踊りだしたり喋ったりしてはしゃぎだした。その後医師に診てもらい症状はすみやかに回復した。」とあります。



オオワライタケ

サクラのあれこれ(6)

「さくら名所 100 選」は、(財)日本さくらの会が創立 25 周年を記念し、全国から推薦のあった 279 ケ所から選び平成 2 年に選定されました。広島県では庄原市の上野公園と尾道市の千光寺公園に決まりました。上野公園は上野池の周囲 4km に約 2,000 本のソメイヨシノが植えられ、千光寺公園は千光寺山(大宝山)の山頂から中腹にかけて、ソメイヨシノを中心に約 10,000 本が植栽されていました。選ばれた頃には、100 選に相応しい輝きを見せていました。その他、県内には 100 選に引けを取らない名所が数々ありましたが、1 県 2 か所平均しか選定できないため、随分苦労もあった様です。

その後、新しい 100 選の計画は今のところ無いそうです。

現在、広島県で名所とされているところには、上野公園、尾関山公園、土師ダム、平和公園、比治山公園、黄金山緑地、広島県緑化センター、江波山公園、宮島、千光寺公園等々がありますが、昭和の初期から昭和 30 年代に植えられたものが多く、相当ダメージを受けている場所もあります。

さくら 60 年説によると、戦後のさくらはこの域に入っており、放任すると、名所が消滅する場所も出ることが心配されています。近年そうした状況に対応するため、それぞれの地域でボランティア活動による、サクラ回復の運動が進められています。土師ダムでは「土師ダムさくら守プロジェクト」が、宮島では「宮島さくら・もみじの会」が、又黄金山では地元のボランティアグループが活性化に汗を流されています。その他の場所も行政や住民が一体となって樹勢回復に取り組まれていることは誠に喜ばしいことです。



宮島でのボランティア活動

野鳥の世界

サンコウチョウ

“サンコウチョウ”、野鳥の名前としては珍しい呼び名です。その由来は、鳴き声を聞くと“ツキ・ヒ・ホシ・ホイ・ホイ”と調子をとるように鳴き、「月・日・星」と聞こえることから三光鳥と呼ばれます。

夏の渡り鳥で、遠く東南アジア方面から渡って来て保育します。野鳥はその種類によって好む生活環境があり、広く棲み分けて子育てをします。中でもサンコウチョウは、深い森林を好むのですが、森林が大きくても林間が明るくても駄目で、中国山地でもその繁殖地は限定されていて、その環境を見分けることは至難です。樹木の種類と密度、中低木の生長がある一定を保っている事、そのことは環境の明るさに深く関係しています。夜明け前の明るさから陽が上る頃の明るさが好みに合っているようです。眼のまわりにある蛍光色の輪が有効な



サンコウチョウ

働きをするためとも考えられています。熱心な野鳥ファンでも針葉樹の混ざった薄暗い山に入るのはあまり気持ちの良いものではありませんが、それでもその声を聞くと、一目見たいという気になるのです。木漏れ日の中で姿を見つけると、黒い頭と蛍光色をしたリングが際立つのに加えて、背中が赤褐色に見えるときがあります。それに、雄は約 30 cm近い尾羽根をヒラヒラさせて優雅に飛びます。

毒のある植物

9月に咲く花は少なく、一部を除いて実もまだ色づいていませんので、今回は緑化センターで見られる“毒のある植物”を紹介します。

人を死にいたらせる植物として、ヒガンバナ、シキミ、キョウチクトウ、オモト、オキナグサ、洋種ヤマゴボウ、アセビがあります。人を狂わせるものとして、クララ、エニシダ。人を狂わせる植物として、イチイ、タケニグサ、ウマノスズクサ、スズラン、スイセン、ユズリハ、テイカカズラ、クリスマスローズ、マムシグサ、イチョウ、ナンテン。

個性的な毒を持つ植物として、ソテツ、シャクナゲ、イラクサ、ノウセンカズラ、エゴノキ、コニシキソウなどがあります。紹介した植物の中には薬草、漢方薬の材料としてよく知られているものもあります。使用の仕方、摂取量などで薬にもなります。トリカブトの毒は有名ですが、塊根を「附子」と呼び古くから漢方薬として重用されました。花岡青洲により初めて開発された麻酔薬にも、トリカブトが成分の一つとして含まれていたことは有名です。素人が中途半端な知識で使用するのには、大変危険ですのでくれぐれも気をつけて下さい。



強い毒性をもつ、シキミの実

研修会紹介

- 9月4日(日) 『初めてのアロマテラピー』 10:00～12:00 学習室 集合
自分の体調に合った香りを探そう！ 要予約(先着20名) 材料代1,000円
講師:オリエンタルアロマテラピー協会
認定講師 新酒 治代
- 9月10日(土) 『9月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
9月の植物を観察しましょう。 講師:森林インストラクター 駄賀 恒男
- 9月19日(月) 『初秋のきのこ観察会』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
歩きながら園内のきのこを観察しよう！ 講師:きのこアドバイザー 川上 嘉章
- 9月23日(金) 『ハタケシメジ栽培教室』 10:00～12:00 学習室集合
ハタケシメジを育てて食べよう！ 要予約(先着30名) 材料代1,000円
講師:きのこアドバイザー 井上 祐一
- 9月30日(金) 『健康の秘訣
～今すぐ実践できる無病息災～』 10:00～12:00 学習室 集合
自然の恵みで健康を維持しよう
講師:安田女子大学教授 神田 博史

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ・ レストハウス・ボード展示
 - 愛鳥週間原画コンクール入賞作品展 8月25日(木)～9月15日(木)
愛鳥週間原画コンクールで入賞した作品の展示をしています。
 - 広島県の美味しいきのこ、まぎらわしい毒きのこ写真展 9月18日(金)～11月3日(日)
広島県内で見られる、食べても美味しいきのこ、まぎらわしい毒きのこの写真展示をします。
- ・ レストハウス・ガラスケース展示
 - エコバック作品展 8月3日(水)～9月11日(日)
末永玲子さんによる手作りエコバック、小物の作品を展示しています。
 - 手作り工房いっちゃん、木の実、枝作品展 9月14日(水)～10月23日(日)
木の実、木の枝を使っての手作り人形の作品を展示します。
 - 季節のきのこ (常設展示)
レストハウスにて、その季節に見られるきのこの実物展示をしています。



表紙：ミヤマアカネ トンボ科アカトンボ属

北海道～九州に分布するが、中山間地域の放棄田増加に伴い減少傾向にある。6月上旬～12月にかけて出現する。